

目標達成計画

作成日: 令和 7 年 3 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	排泄に係る支援記録を確認したが、IT化の検討を行い、記録時間をケアにシフト頂くことを期待したい。	支援記録はもちろん、フェイスシートやアセスメントシートなどをIT化することで、時間短縮し利用者と関わる時間を多く持つ。	5月よりIT化導入に向けて準備中パソコンの苦手な職員に対し研修を予定している。 気候も良くなり近隣公園や店舗など、外出の時間を充実させたい。	2ヶ月
2	35	事業継続計画(BCP:感染症・自然災害)作成されていたが各様式の規制が未完成の部分があった。それらの記載をお願いしたい。安否確認の優先順位等重要な部分のため、各介護スタッフとともに作成され周知も踏まえ書くフロアに計画書を配置し常に読み込みが必要であることを理解し、施設としての醸成を期待したい。	介護施設では災害が発生しても、利用者の安全を守りサービスを続けなければならない。職員一人一人がBCPの必要性を自覚し、定期的な見直しをし、現実に即した内容に改める。	BCP計画書を各ユニットに配置し、全職員が常に見ることができる環境を作る。 1年に1度の見直しを行う。	3ヶ月
3		現在は左記項目について入所時及び状態の変化時にその都度丁寧に説明を行っている。 本人・家族にとってはききにくい・つらい話でもあるがそれも踏まえてアドバンスケアプランニング等の説明について、内容の理解のための書面等を活用し十分に同意を得ることを期待したい。	看取りを実施している施設のため入居時、状態が変化した際に、その都度対応について話し合いを行う。	アドバンスケアプランニングについての書面を作成し、利用者様、家族様に理解をしていただき同意を得る。	3ヶ月
4		グループホームにおける担当者会議の位置づけが、やや形骸化しているように思える。 今後は、医療・介護・福祉のメンバーが本人・家族を囲み会議開催時に目的に対しての検討がともにできるようにお願いしたい。	担当者会議では本人、家族を交えてそれぞれの意向を確認する。	介護計画書の見直し月は、家族の面会に合わせて担当者会議を開催し、必ず本人、家族の意向を確認して同意を得る。	3ヶ月
5		居室内のトイレはカーテンで仕切られている。 それにもたれての転倒はないということだが臭気・感染等の防止等のため、今後も配慮はよりお願いしたい。 (カーテンの洗濯の頻度等)	トイレ、洗面台の毎日の掃除を徹底するとともに、カーテンの洗濯をまめに行い清潔を維持する。	トイレのカーテンの洗濯は年2回実施する。	1ヶ月

6	今後ますます後見制度など活用の機会は多くなります。 手続きが必要な場合や相談時につなげる機関など基本的活用法について学ぶ機会を持ちましょう。	職員全員が成年後見制度にいて理解する。	年に1回の研修を行う。	12ヶ月
---	---	---------------------	-------------	------

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。